

(様式1)

タイトル	地域と協働して取り組む太陽光発電事業による人材育成
名称(学校・地域)	飯田市立旭ヶ丘中学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	http://asahiijh.ed.iidanet.jp/

【教育活動の内容】

「校舎の屋根に太陽光パネルを載せられないでしょうか」

生徒会役員が一人が学校長に相談したのは、平成26年11月のことでした。前年の生徒会役員選挙で「環境モデル都市である飯田市の学校として、環境問題に積極的に取り組みたい」と公約を掲げた生徒の発案が、伊賀良・山本両地区と地域の協働事業者の協力を得て現実のものとなりました。現在、本校南校舎の屋根には216枚の太陽光発電パネルが載り、容量57kWの「かやの木発電所」として稼働し、年間想定発電量約6万Whを売電しています。(「かやの木」は本校のシンボルである榎の大木)

この発電事業では、災害時に体育館が避難所として機能するための非常用独立電源として、隣接する武道場屋根の太陽光パネルと体育館の蓄電池も付設されました。さらに売電収益をもとに協働事業者から地域活性化や地域環境保全のために毎年10万円が寄付され、その遣い道は生徒会の発案に委ねられています。また、理科室に設置された教材用の大型太陽光パネルと蓄電池2セットを学習に活用したり、協働事業者による環境学習教室を毎年開催したりして、生徒が再生可能エネルギーについて学ぶこととなっています。

この生徒の発案による発電事業により、生徒が地球温暖化を身近な問題として捉えられるようになりました。また、毎週継続して実施している生徒会のごみ拾い登校とアルミ缶等資源物回収や、地域のごみゼロ運動への自主参加などのような生徒による主体的な環境保全活動や地域貢献活動への取組が活性化しています。



南校舎屋上の216枚の太陽光
パネル 容量 57.24kW



太陽光発電設備設置事業認定式及び協定書調印式
[平成27年12月22日]